

総合計画審議会での検討報告

将来の犬山市のまちづくりについて 基本的な考えがまとまりました。

平成20年度から犬山市総合計画審議会（会長 末岡熙章（名古屋経済大学学長））では、みなさんからの意見などをもとに犬山市のまちづくりにおける新しい長期計画（第5次犬山市総合計画・平成23年度～平成34年度）の基本的な考え（基本構想原案）を検討してきました。今回は、その内容をお知らせします。



まちづくりの考え方

将来に向けて、市民の暮らしを大切に守り、さらなるまちの活力を創造し、満足度の高い魅力あるまちの実現を目指すため、“個人”・“地域”・“市全体”の視点から、まちづくりの基本となる3つの考え方を定めます。

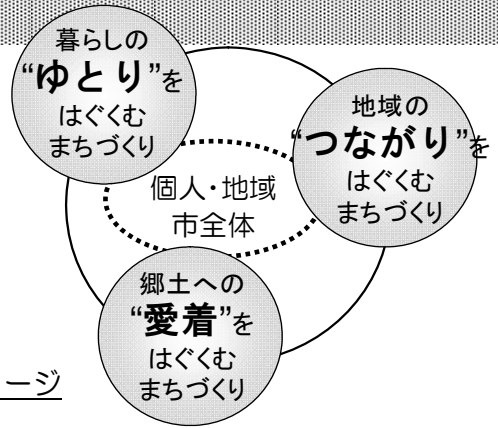


図 まちづくりの考え方のイメージ



まちの将来像

■目指すまちの姿

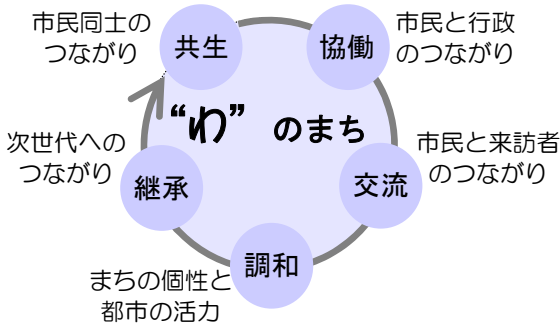


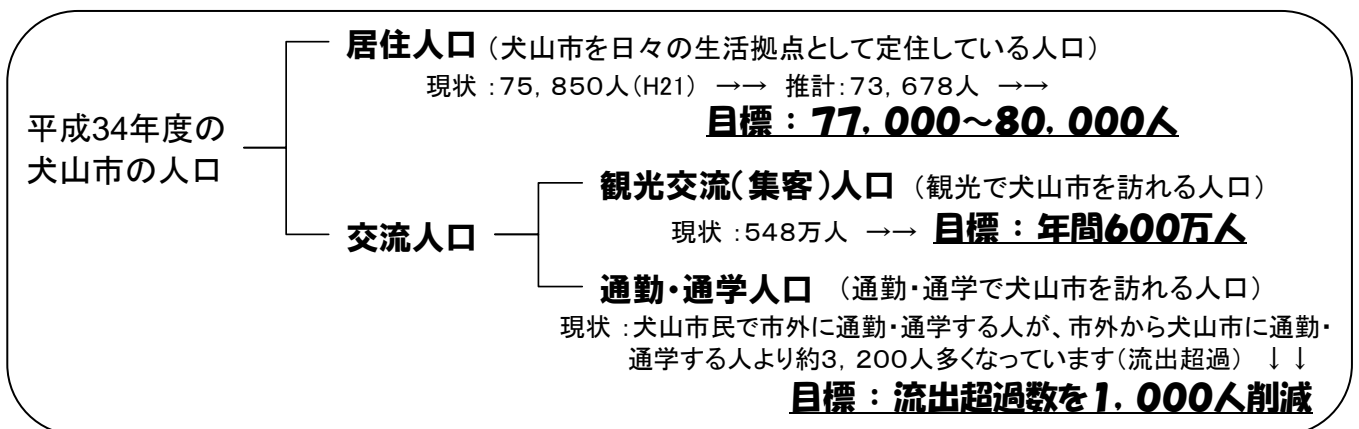
図 “わ”のまちのイメージ

人が輝き 地域と生きる “わ”のまち 犬山

犬山に『住んでよかった』『これからも住み続けたい』と思えるまちであるとともに、市外の人にも犬山の魅力が広く認知され、『行ってみたい』『住んでみたい』と思われるまちとなるよう、目指すまちの姿を表します。

■人口の目標

定住している“居住人口”とまちづくりや経済活動などで大きな影響をもたらす観光、通勤・通学で本市を訪れる“交流人口”について現状の人口や推計人口を踏まえて、目標を設定します。



ポイント

犬山市の将来の居住人口は どう推計されているの…

表 居住人口の推移予想

年齢区分	平成21年度		その①	平成34年度	
	実績値			推計値	
	人口数	構成割合		人口数	構成割合
0～14歳	10,959	14.4%	その①	7,292	9.9%
15～64歳	48,025	63.3%		44,796	60.8%
65～74歳	9,975	13.2%	その①	9,151	12.4%
75歳以上	6,891	9.1%		12,439	16.9%
総人口	75,850	100.0%	その②	73,678	100.0%

その① 年齢構成比の変化

年少人口(0～14歳)が、3,667人減少し、後期高齢者人口(75歳以上)が5,548人増加するため、全人口に占める年少人口の割合が縮小(14.4%→9.9%)、後期高齢者人口が拡大(9.1%→16.9%)します。

その② 人口規模の減少

12年間で、総人口が2,172人減少すると予測されています。

※推計値：年齢階層別に過去の人口推移や出生率などに基づいて算出



まちづくり宣言

まちの将来像の実現に向けて、市民と行政の協働による具体的な取り組みを一層推進していく決意を表すため、10の“まちづくり宣言”を定めます。

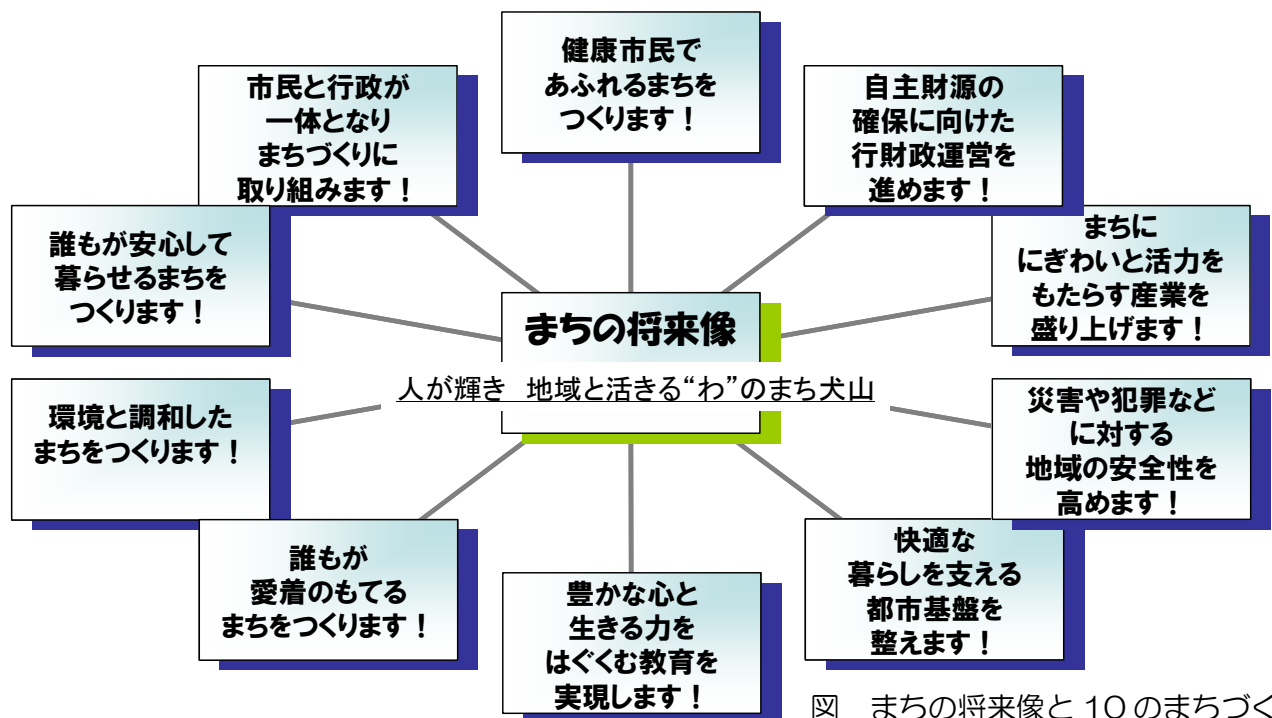


図 まちの将来像と10のまちづくり宣言

～以上の内容を含めた総合計画(原案)は、今後、犬山市総合計画審議会から市へ答申(提出)される予定です。～

【ご案内】アンケート調査を実施中です。

犬山市では、総合計画に記載する施策の目標をたてる上で必要となる現在の状況を把握するため、無作為で選ばせていただいた市民2,000人の方を対象に郵送によるアンケート調査(意識調査)を実施しています。

お手元にアンケート票が届いた方は、お手数をおかけしますが、7月22日(木)までに同封の封筒(切手不要)で返信いただきますようご協力をお願いします。

【発行】犬山市役所 企画財政部 秘書企画課

TEL 44-0312(直通・土日祝日除く) / FAX 44-0360 / E-mail: 010100@city.inuyama.lg.jp
市ホームページ: <http://www.city.inuyama.aichi.jp/> *ホームページではみなさんからの意見も受け付けています。